

平成26年度（第2回）
 水稻病害虫発生状況調査及び生育診断圃調査の結果について
 （実施日 平成26年7月23日（水））

いもち病	今回の調査では、発病が見られませんでした。常発地では発生がみられますので、今後の気象と発生状況に十分注意してください。
紋枯病	今回の調査では、発病が見られません。今後の気象と発生状況に十分注意してください。
ウンカ類	ヒメトビウンカとセジロウンカの発生している地域がありますが、少ない発生です。今後の情報に注意してください。
カメムシ類	調査田の中では、捕獲できませんでしたが、早く出穂した水田は注意してください。今後、出穂とともに、カメムシなどの発生が多くなりますので、水田内のヒエ、エノコログサなどの除草や畦畔草刈りを出穂までに実施してください。出穂10日後頃がカメムシの防除適期です。
その他	イネミズゾウムシ・フタオビコガヤ（イネアオムシ）は今回の調査では認められませんでした。 ニカメイチュウの食害株は見られませんでした。近年多発生している地域では、今後の発生に注意してください。
生育状況	平均草丈の前年対比は102.4%、平均茎数は85.0%です。 平均草丈 養父市 98.1cm（昨年98.9cm）※99.2% 朝来市 91.0cm（昨年85.8cm）※106.1% 平均茎数 養父市 21.0本（昨年30.3本）※69.3% 朝来市 27.3本（昨年26.5本）※103.0%

（※詳細は普及センター、農協の営農指導員又は南但広域農業共済課職員にお問い合わせください。）

※ 次回の調査は8月6日（水）の予定で、最終調査となります。

【お問い合わせ先】

南但広域行政事務組合農業共済課
 TEL 079-665-0215